

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、令和元年度日本陸上競技連盟競技規則に準じて行うが、参加者の年齢段階を考慮して、特に教育的配慮のもとに競技を進行する。小雨決行(ただし暴風雨及び雷警報発令等、実施困難な場合は中止とする。)
2. 参加種目は一人2種目までとする。
3. スパイクシューズは長距離種目以外使用してもよい。(ピンはオールウェザー用のものを使用し、長さは7ミリ以下とする。)

4. コールは行わない。(棄権の報告は不要。)

競技開始15分前までに集合の予告放送をするので、10分前までに、集合場所に集まり、係の指示に従うこと。(フィールド種目も他の種目と同じ集合場所とする)

5. スタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。

スターティングブロックは、希望者全員使用してよいが、速やかに準備できるよう、よく指導しておくこと。またフライングについては、岡山県の小学校の大会では、同一人でなくても、2回目以降のスタートでフライングした選手が失格となる。

6. 100m, ハードル, リレーの選手は、自分のレーンを走り、ゴール後は自分のレーンにもどること。

7. トラック種目は、全種目タイムレース決勝とする。

ハードル走は下表の規定にて行う。

	第1ハードルまで	高 さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
60m	1 3 m	60cm	7 m	6台	1 2 m
80m	1 3 m	70cm	7 m	9台	1 1 m

8. 走り幅跳びは、全員3回の試技を行い、上位8名が残り3回の試技を行う。計6回の試技で順位を決定する。

※砂場に届かない試技や3回ともファールの場合の参考記録は測定しない。

また走り高跳びの試技は、男女とも100cmから開始する。跳び方ははさみ跳びとし、マットへの背、腰からの着地は無効試技とする。

ソフトボール投げは全員3回の試技を行い、上位8名が残り3回の試技を行う。計6回の試技で順位を決定する。

9. 各種目とも上位6位までを表彰する。3位までの入賞者は、放送の指示により表彰式を行う。4位以下は本部で表彰状を受け取ること。

参加者全員に記録証を配布する。(記入は各団体で行うこと) 記録は速報板に掲示するのでよく確認のこと。

なお、後日倉敷JCのホームページにも掲載するので、見落とした場合はそちらで確認のこと。

10. 各チームの指導者は、見学のマナーも含めて、選手の指導・管理を徹底すること。

11. 本大会出場選手のうち、希望した選手には、主催者側で1日傷害保険に加入しているが、けがや事故には、十分注意すること。大会出場時の急病・事故については、応急処置以外の責任は負わない。

12. 貴重品の管理は各人で行うこと。紛失の責任は負わない。

13. ごみは各自持ち帰ること。